専門実践教育訓練明示書

講座の名称									
実 施 方 法	① 通学 ②昼間・夜日	間 · 土日) 2	通信	スクー	<u>-IJン</u>	グ(回数	数	回)
指定講座番号	9 6 0 0 8	_ 1	7	1 0	0	1	_	6	
講座の創設年月日		過去一			·				
	対象講座の指定期間	年の講 座実績	入詞	構者数(4人)		修了	者数	(4人)
平成25 年 4月 1日	平成33年 3月31日まで								
訓練期間	24ヶ月		総	訓練問	寺間				772時間
1. 教育訓練目標									
		□ 業務独	由 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	3 称独占資	資格	()
		□ 職業署	実践専門詞	果程		()
		┃ ┃ □ 専門耶	職学位			()
 ①取得目標とする資格の	名称、目標レベル	■職業	実践力育原	戊プログ -	ラム	(保健)
		教育訓練を				` 記じか		格笙	<u> </u>
		修士(医科:		4 G H 1H	1 / — 1		1000	IL 47	
			• /						
②①に係る資格・試験等の	の実施機関名称	鹿児島大学	<u> </u>						
		学校教育法院	 第83条に定	'める大学	を卒業	美したす	者またに	ま同等	 の能力があ
	ための要件または受験資格	ると認められ	た者						
等		医科学専攻 イオサイエン							
	が必須又は有利となる職種・ :・知識が活用されておいる業	メディカルス							
界と活用状況	: M成が石川で40で630 で来	線技師、看	護師、介語	蒦福祉士	、メデ	ィカル	ノコーラ	" ィネ-	ーター等)
	3								
2. 教育訓練の内容			時	間		信	支用	女材:	 名
人体の構造と機能			30 時間		シラバ				おいて指定
ゲノム医学			30 時間	引	シラバ	ス又	は、講	義には	おいて指定
疾病論•病因論			30 時間	引	シラバ	ズス	は、講	義には	おいて指定
高度メディカル実習			30 時間	I	シラバ	ス又	は、講	義に	おいて指定
生命医療倫理学			30 時間	引	シラバ	ズ又	は、講	義には	おいて指定
医科学論			30 時間	引	シラバ	ベスス	は、講	義には	おいて指定
医科学研究(B)			90 時間	引	シラバ	ス又	は、講	義には	おいて指定
医科栄養学			30 時間	引	シラバ	ベスス	は、講	義には	おいて指定
健康増進医学			30 時間	引	シラバ	ベスス	は、講	義には	おいて指定
医学生物学データ解析演	[習		15 時間	引	シラバ	ス又	は、講	義には	おいて指定
臨床病態学			28 時間						おいて指定
離島医療学			30 時間						おいて指定
臨床薬剤学概論			30 時間						おいて指定
医療情報・医療情報管理	•医療経済学		30 時間						おいて指定
感染と生体防御			30 時間	_					おいて指定
高度医療学研究			30 時間						おいて指定
バイオサイエンス実習			45 時間						おいて指定
英語で学ぶ生命科学			30 時間						おいて指定
分子薬理学・創薬科学			30 時間						おいて指定
再生•移植医学			30 時間						おいて指定
宇宙環境医学概論			30 時間						おいて指定
人体解剖学実習			54 時間						いて指定
脳科学			30 時間						おいて指定
インターンシップ の	めの要件(この講座を受講	きさるために	- 時間				は、蔣	我に	おいて指定
3. 受講者となるた	め の 女 什(この神座を文詞	まる のにめいし	必女へられ	しているき	オイン	<u> </u>			

①受講するに当たって必要な実務経験等	メディカルスタッフとしての経験を有する者、またはメディカルスタッフと して就職を希望する者
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・ 技能・知識等の内容及びその水準	大学卒業と同等以上の基礎学力と、専門分野に関連する地域及び国際社会の諸問題への関心
③その他	

専門実践教育訓練明示書

		र	l J	天	眨	狄	<u> </u>	训	冰	ללי	小	百				
4. 教育訓練の受講の	 の実	── 績及び[]標達	成の状												
(1)資格取得状況																
① 前年度の修了者数	<u> </u>							4	人				_			
② ①に係る教育訓練	の入	、講者数	,			<u> </u>		4	人	╗						
③ ②のうち目標資格	の受	験者数							人	、受	験率(③	/(2))			%	
④ ③のうち合格者数						T			人	、 合	格率(4)	/(3)			%	
⑤ ②(入講数)のうち	就職	者数	<u> </u>						人	,			_			
⑥ ②(入講数)のうち	在職	者数 》	(2						人	、就職∙	在職率(⑤	+6/2)			%	
※1 前年度の修了者	のう	ち、受講	開始	時に職	に就いて	ていなか	いった者	ずで修了	後に就	職した	者。					
この場合、就職し	L <i>t</i> =8	≟は、臨り	時的な	。仕事に	こ就職し	た者は	含めな	い。								
※2 受講開始時に既	に職	に就いて	ていた	:者で、	卒業後も	も引き続	売きその)職にあ	る者及	び受講	開始時	に既に	職に就し	ハている	者で、	
修了後に別の墹	ぱこ朝	職した	者。													
(2)受講修了者による	講座	≦の評価	i等 							1						
① 回答者総数												人	_			
	1	正社員										人		②A: 京	忧業者計	
	2	非正社	員、派	徒社員	<u> </u>							人	_			
② 受講開始時の就	3	その他	の就	集(自営	(業等)							人				
業状況等	4	学生										人				
	5	求職中										人	-	②B:非	就業者計	
	6	その他	(主婦	、無職	等)							人]			
	1	処遇の	向上	「昇進、	昇格、資	資格手≦	当等)に	役立つ)			人				
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる									人						
(a) +15 M/c 1 + +4 - +4	3 社内外の評価が高まる									人	③の回答数合 - ※②Aと同数(又はそ 以					
③ 就業中の受講者 による講座の評価	4 円滑な転職に役立つ								人							
	5	趣味・教	炎養に	役立つ)							人				
	6	その他	の効!	 果								人				
	7	特に効	果はた	はい								人]			
	1	早期に	就職	できる								人				
	2	希望の	職種	・業界で	で就職で	きる						人	1 ④の回答数合計			
④ 就業していない	3	3 より良い条件(賃金等)で就職できる								人	※②Bと同数(又は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
受講者による講座の 評価	4	4 趣味・教養に役立つ								人						
	5	その他	の効!	 果								人				
	6	特に効	果はた	ない								人				
	1	受講中	又は	受講修	了後3か	・月以内	内に就取	哉した				人			答数合計	
⑤ 受講者の就業状	2	受講修	了後(3 ~ 6か	・月以内	に就職	した					人		女(又はそ		
況	3	3 受講修了後6~12か月以内に就職した								人		れ以下)			
	4	4 就職していない								人						
	1	1 大変満足							人		数合計					
	2	2 おおむね満足								人	*(1)	又はそれ				
⑥ 講座の全体評価	3 どちらとも言えない								人	}						
	4 やや不満								人							
	5	大いに	 不満									人				
5. 教育訓練の受講!	こよる	 5効果σ)把握	及び測	定の方法	法並び	にその	レベル	を受講者	当に対し	て明ら	かにす	るための	D具体的	な方法	
1に掲げた教育訓練目 到達度の把握・測定方		対する	技能•	知識の)レベル	科目	ごとの	試験・レ	ポート	こより珥	里解度•3	到達度 [。]	を測定す	ける。		
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場	所、F	诗期、 期	間・匠]数		-			_	_						

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握	方法									
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・5 準)	定期試験、途	進級試験等の具体的基	講義等への出席と、科目ごとの定期試験をもって合格の認定とする。							
(2)受講認定基準に係 のレベル到達度把握・		標に対する技能・知識	科目ごとの試験・レポートにより理解度・到達度を測定する。							
(3)修了認定基準 (出席率·修了認定試!	験等の具体	的な基準)	30単位以上(必修 つ、修士論文の審			:以上)を修	得し、か			
(4)修了認定基準に係 のレベル到達度把握・		標に対する技能・知識	修士論文発表会および最終試験では、医歯学総合研究科のディプロマポリシーに定める以下の能力を身につけているかどうかを審査し、合否を判定する。 1.ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と基本的な能力 2.将来、医科学およびライフサイエンスの多様な分野で社会貢献できる専門家としての基本的な能力 3.広い視野と高い倫理観をもって、学術研究を基盤とした専門的知識・技能を医療や関連領域に応用する能力 4.専門分野における基礎的な研究能力と高度な学識と専門性を活かして、地域と国際社会の発展に貢献できる能力							
7. 受講中又は修了	後における	受講者に対する指導及び	が助言並びに支援の	D方法						
(1)受講中の者に対す な助言・指導の方法	する習得度・	理解度に関する具体的	プログラムの担当 理解度を日常的に			受講者の習	習得度•			
的なバックアップ体制	資格関連職種 <i>0</i>	を格取得・就職への具体 ウ求人情報の提供方法、早期 況)	面談をする機会を	持ち、適宜相談に	□乗る。					
8. その他の事項										
指 定 教 育 訓 練 実 及 び 代 表 者		国立大学法人 鹿児島	大学		(代表者名:	前田 芳實)			
住所及び連	絡 先	〒890-0065 鹿児島県	鹿児島市郡元1-21	-24	TEL 099-285-	-8531(代表	₹)			
施設名称及び施	ē 設 長 名	鹿児島大学大学院医歯	学総合研究科 (施設長: 馬場 昌範							
住所及び連	絡 先	〒890-8544 鹿児島市	桜ヶ丘8-35-1		TEL .099-275	-5111(代表	長)			
苦情受付者 氏名	名 前田 や	医圏字総合研究をよい 所属 学務課医歯学大学		者 氏名 宮	﨑 逸男 所属	医歯学総合 等学務				
連絡先	TEL	係 099-275-5120	連絡先	TEL 0	99-275-5120					
専門実践教育訓練経費	費 1. 専門	実践教育訓練給付金の	対象となる経費(1) +		1,353,600	円			
支払い方法	(※割	料 (税 込 額) 引・還元措置を実施した の差引き後の税込額とで				282,000	円			
②分割払 - ③ 両 方 可 能	(※割	料(税 込 額) 引・還元措置を実施した の差引き後の税込額とす		第1期 2 第2期 3 第 3 期 2 第 4 期 2 第 5 5 期 2 (うち、必須	- - - 教材費	267,900 267,900 267,900 267,900	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円			
	2. 専門	実践教育訓練給付金の	対象外となる経費	(1) + 2 + 3	+ 4)	0	円			
	1	任意の教材費(税込額)				0	円			

2	実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
3	施設維持費(税込額)	0	円
4	その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税)	0	円
3. 総 ※教材	領(1+2)(税込額)= 費・実習費用等は各教科担当より別途指示がある場合もある	1,353,600	円